

2022年度
世 界 史
(問 題)

〈R04163416〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～8ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべてHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	<input checked="" type="radio"/>	良い	<input type="radio"/>	悪い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	悪い
マークを消す時	<input type="radio"/>	良い	<input type="radio"/>	悪い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	悪い

5. 記述解答用紙記入上の注意
 - (1) 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
 - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数字見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

	万	千	百	十	一
(例) 3825番⇒		3	8	2	5

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

I 次の文章を読み、問A～Lに答えよ。解答はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークせよ。

アテネの市街地を見守るかのようにアクロポリスにそびえ立つパルテノン神殿は、建設中であった旧神殿がペルシア戦争の際に破壊されたため、ペリクレスによって再建された。大理石で造られた荘厳な神殿の費用は、紀元前478年頃に結成されたデロス同盟の資金を流用したと伝えられている。彫刻家 **E** はペリクレスの知遇を得て再建工事に従事し、パルテノン神殿内部の本尊を制作したとされる。この神殿は前447年に着工され、約15年の短期間でペロポネソス戦争の直前である前432年に完成した。パルテノン神殿の建築様式は、外観の円柱部分など全体としてドーリア式建築とみなされているが、内部にはイオニア式の装飾も施されている。

アテネ民主政の最盛期を象徴するパルテノン神殿はその後、中世にはキリスト教会に、オスマン帝国の支配下ではモスクに転用され、1687年のヴェネツィア軍の砲撃により大きく破壊された。廃墟と化していたアクロポリスの古代遺跡の本格的調査が開始されたのは、1830年に **I** 会議の議定書によりギリシアの独立が承認され、アテネに首都が移された1834年以降のことであった。アテネは現代に入っても1941年のドイツ軍を中心とする枢軸国による占領、1946年以降の内戦、1967年から約7年間続いた軍事政権という苦難の時代を経験した。ギリシアは1975年の新憲法の採択により民主制に復帰し、1981年にヨーロッパ共同体（EC）に加盟、2001年にユーロの導入を果たしたが、2009年に財政危機が明らかになりヨーロッパ連合（EU）の通貨危機を招いた。2004年に開催されたオリンピックでは、こうした国内の財政問題を内包しつつも、アテネの遺跡群、なかでもパルテノン神殿が、古代ギリシア建築の傑作として世界から再認識される機会となった。

問A 下線部Aに関連して、アクロポリスの遺跡群は1987年に世界遺産の文化遺産として登録された。この登録を行う国際連合の専門機関の本部はどの都市にあるか選べ。

1. ブリュッセル
2. ジュネーヴ
3. パリ
4. ニューヨーク

問B 下線部Bに関連して、ペルシア戦争中に起きた戦いではないものを選べ。

1. テルモピレーの戦い
2. レウクトラの戦い
3. プラタイアの戦い
4. マラトンの戦い

問C 下線部Cに関連して、ペリクレスやその時代の民主政についての説明として最も適切なものを選べ。

1. ペリクレスは15年連続で将軍に選出されたが、軍事の最高職である将軍は、抽選ではなく民会における選挙で選ばれた。
2. ペリクレスが民会に提案した前451年の法の定めにより、父親がアテネ生まれであれば市民権が認められた。
3. ペリクレスが民会に提案した前451年の法の定めにより、父親がアテネ生まれであれば18歳以上の成年男性に参政権が与えられた。
4. ペリクレスはペロポネソス戦争中に将軍職を一時解かれ、弾劾裁判に市民たちにより訴えられたが、再び将軍になりスパルタとの戦いに臨み、前429年に戦死した。

問D 下線部Dに関連して、デロス同盟の説明として最も適切なものを選べ。

1. ペルシアの再侵攻に備えて、アテネとスパルタの協力を軸に結成された軍事同盟で、デロス島に置かれた同盟の本部で資金は金庫において共同管理された。
2. 前454年にクレイステネスは同盟の金庫をアテネのアクロポリスに移し、同盟資金をアテネ財政に流用し始め、五百人評議会の創設や陶片追放制度の導入の費用として用いた。
3. 同盟の本部はゼウス神殿があった宗教的中心地のデロス島に置かれた。前454年に同盟の金庫がアテネのアクロポリスに移された後も、同盟諸国の会議はこの島で定期的に行われ重要であり続けた。
4. デロス同盟の加盟国は軍船と乗組員を提供するか、軍資金を提供する義務があり、大部分の同盟諸国は軍資金の提供を行った。アテネ選出の財務官たちが同盟貢租と呼ばれるこの軍資金の管理を担い、前454年に同盟の金庫がアテネのアクロポリスに移された後は、同盟資金はアテネ財政に流用されるようになった。

問E E に当てはまる人物を選べ。

1. プラクシテレス
2. エウクレイデス
3. フェイディアス
4. エフィアルテス

問F 下線部Fに関連して、パルテノン神殿内部の主室に安置された祭神像の説明として最も適切なものを選べ。

1. アテナ女神像は黄金板や象牙等を用いて制作されたが現存しない。
2. 黄金板や象牙等で制作されたアテナ女神像は現存し、黄金板が取り外し可能で、その大部分が軍資金に転用された。
3. パルテノン神殿の装飾部分と同様に、現存しない大理石製のアテナ女神像にも彩色が施されなかった。
4. オリンポス12神のうち主神ゼウスと太陽神アポロンの黄金板や象牙製の像が、現存するアテナ女神像の両脇に安置されていた。

問G 下線部Gに関連して、ペロポネソス戦争に将軍として参戦するが弾劾裁判により追放され、約20年間亡命生活を送った科学的な歴史叙述の祖とされるアテネ出身の歴史家を選べ。

1. プルタルコス
2. トウキディデス
3. ストラボン
4. ヘロドトス

問H 下線部Hに関連して、前6世紀以降にはイオニア地方のミレトスを中心にイオニア自然哲学が発達したが、この流れに属す自然哲学者として適切でない人物を選べ。

1. ピンダロス
2. ヘラクレイトス
3. タレス
4. ピタゴラス

問I I に当てはまる都市名を選べ。

1. ペテルブルク
2. ウィーン
3. オデッサ
4. ロンドン

問J 下線部Jに関連して、ギリシア独立戦争に参加したイギリスのロマン派詩人の作品を選べ。

1. 『戦争と平和』
2. 『虚栄の市』
3. 『チャイルド＝ハロルドの遍歴』
4. 『オリヴァー＝トウイスト』

問K 下線部Kに関連して、この年に独裁体制を長年維持していた国家元首が死去し、1978年の新憲法により民主的君主制に移行した国を選べ。

1. イタリア
2. ポルトガル
3. ブルガリア
4. スペイン

問L 下線部Lに関連して、1896年にアテネで第1回大会が開催されたが、オリンピックの復活を提唱して国際オリンピック委員会の1894年設立に尽力した人物として適切なものを選べ。

1. カーネギー
2. クーベルタン
3. クーデンホーフ＝カレルギー
4. シュリーマン

Ⅱ 次の文章を読み、問A～Lに答えよ。解答はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークせよ。

歴史上の中国において、王朝はその支配下にある文化的・社会的に多様な人々を様々な方法で識別・区分した。その最も著名な例は、モンゴル帝国（元朝）による、モンゴル・色目・漢・南からなるいわゆる「四階級制」であろう。しかし、上位の階級であるモンゴル人・色目人が被征服者である漢人・南人を抑圧したという通説は近年の研究により見直され、漢語史料にのみあらわれる色目人という概念は、実は漢人により創出されたことや、そもそもモンゴル・色目・漢・南という区分自体も納税・裁判などの制度上でのみ適応され、「階級」や「身分」を意味しないとされる。むしろ、モンゴル帝国の統治の根幹は、ある人物およびその家系がモンゴルの支配者たちに仕えた年月の長さを意味する「根脚」という概念や、職能や宗教ごとに人々を区分して管理する支配の方式にあった。

このように、政治的な経歴や職能による人々の識別・区分は、中国の歴史上、モンゴル帝国以外の幾つかの王朝においても同様に行われた。例えば、北魏におけるいわゆる「漢化政策」の前提は、鮮卑・漢のそれぞれが独自の制度・言語で統治されていたことであり、契丹の遼朝や女真の金朝も、支配下の人々を識別・区分して統治した。ここで注目すべきは、歴史上の中国においては、外來の征服者たちこそが人々の識別・区分に積極的であり、現在につながる多くの民族的概念の源流が、彼らの政策に遡るといえる点である。

問A 下線部Aについて、次の中からモンゴル帝国の拡大について正しい説明を一つ選べ。

1. チンギス=ハンのインド侵攻による混乱の中で頭角をあらわしたアイバクは、後に奴隸王朝をたてた。
2. バトゥが率いる軍勢により、東欧にまでモンゴル帝国の侵攻が及んだ。
3. 1258年、モンゴル軍はバグダードを陥落させ、セルジューク朝を滅した。
4. ハイドゥはフビライの忠実な配下として、イル=ハン国を建てた。

問B 下線部Bについて、清朝滅亡後の中国において、旧來の身分や階級に批判的な文章を発表した作家に魯迅がいるが、彼の作品でないものを次から一つ選べ。

1. 『故郷』
2. 『阿Q正伝』
3. 『狂人日記』
4. 『新青年』

問C 下線部Cに関連して、歴史上の「漢人」について、誤っているものを次から一つ選べ。

1. 遼朝の支配下では多くの「漢人」が官僚となった。
2. 大清帝国（清朝）において、「漢人」により編成された八旗が存在した。
3. 明代中期以降、多くの「漢人」が法を犯して長城を北に越え、モンゴル高原に移住した。
4. 「漢化政策」実施後の北魏では、「漢人」と鮮卑の貴族家系の間での婚姻は禁止された。

問D 下線部Dについて、「南人」とは主に旧南宋領の出身者を指すが、南宋時代の江南開発の中で湿地帯が干拓されて形成された田の名称として、正しいものを次から一つ選べ。

1. 公田
2. 乾田
3. 方田
4. 圃田

問E 下線部Eについて、モンゴル帝国支配下で作成された漢語文献について、誤っている説明を次から一つ選べ。

1. モンゴル語の統語構造を反映した特異な漢語により命令文書や判例などが記された。
2. 『西遊記』などの小説が現在に伝わる形で成立し、元曲と総称される。
3. パスパ文字はモンゴル語のみならず、漢語の音写にも用いられた。
4. モンゴルの支配者たちは漢語の書籍の刊行に資金的な援助を行った。

問F 下線部Fについて、色目人とされた人々にはイスラム教徒が多かったが、モンゴル帝国支配下の中国を訪れたとされるイスラム教徒を次から一人選べ。

1. イブン＝ハルドゥーン
2. イブン＝アブドゥル＝ワッハーブ
3. イブン＝バトゥータ
4. イブン＝シーナー

問G 下線部Gにつき、チンギス＝ハンの子孫により建てられたウルスのうち、最も早く君主の血統が途絶えたものを次から一つ選べ。

1. キプチャク＝ハン国
2. イル＝ハン国
3. 大元ウルス（元朝）
4. チャガタイ＝ハン国

問H 下線部Hに関して、モンゴル帝国支配下の宗教に関する説明として誤っているものを次から一つ選べ。

1. 華北で興隆した全真教がモンゴル帝国の支持を得て江南の道教を統括した。
2. カトリックの宣教が大都（現在の北京）で行われた。
3. イスラム教徒の人口が増大し、改宗者にはモンゴルの王侯も含まれていた。
4. チベット仏教の高僧が帝師として歴代ハーンに大きな影響力を及ぼした。

問I 下線部Iに関して、モンゴル帝国成立以前の中国をめぐる国際関係について誤っているものを次から一つ選べ。

1. 南宋はその存続期間を通じて、金朝に対して臣下の立場をとるかわりに、絹や銀の下賜をうけた。
2. 西夏は北宋に臣下の礼をとり、その見返りとして莫大な絹・銀などを歳賜として受け取った。
3. 南宋では秦檜が主導して、金朝との交戦を主張する派閥を弾圧した。
4. ベトナムの李朝は北宋との戦争を有利に戦い、南宋の冊封体制のもとでも高い地位を占めた。

問J 下線部Jに関して、北魏において施行された政策を一つ選べ。

1. 租調庸制
2. 三長制
3. 里甲制
4. 府兵制

問K 下線部Kについて、北魏の指導者層を形成した中核集団である拓跋氏が華北に移動してから、その居住地であるシラームレン流域（現在の中国内モンゴル自治区東部）の草原地帯を占拠し、そののち華北の政治情勢に様々な介入する集団を次から一つ選べ。

1. 柔然
2. 契丹
3. 鉄勒
4. 回紇

問L 下線部Lについて、遼朝と金朝の統治制度について、正しいものを次から一つ選べ。

1. 金朝は100戸を1謀克、10謀克を1猛安として編成した。
2. 遼朝は支配地域を二分し、北半は北面官、南半は南面官がそれぞれ軍政・民政を掌握する二重統治体制をしていた。
3. 金朝においては女真人も科挙を受験した。
4. 遼朝がつくった契丹文字は、ウイグル文字の創造に大きな影響を与えた。

Ⅲ 次の問題を読み、問A～Lに答えよ。解答はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークせよ。

ルネサンス (Renaissance) とは「再生」を意味するフランス語に由来しているが、歴史家 **A** の著した『イタリア・ルネサンスの文化』(1860年) などによって広く知られるようになった。そして主に14～16世紀のヨーロッパ社会の転換期を中心に起った革新的な文化運動と考えられている。だがこのイタリアを起点とするルネサンスに先行する形で「カロリング＝ルネサンス」や「12世紀ルネサンス」などの存在が一般に認められている。

イタリア・ルネサンスは古代ギリシア、ローマの古典古代の文化を範としたが、それはビザンツ帝国、イスラーム圏における古典古代の研究を基礎としている。イスラーム圏ではアッバース朝第7代カリフ **E** のときバグダードにおいて「知恵の館」が作られギリシア語文献のアラビア語への翻訳が進められた。またイブン＝ルシユド (アヴェロエス) などの学問的貢献もきわめて大きい。

イタリア・ルネサンスは中世盛期に比べて現世主義的であり、感情や理性を尊重する人文主義の傾向が強く、彼らはヨーロッパ各地に人文主義者を生み出していった。その中でイタリアにおける代表とも言えるのがそれぞれ13世紀後半と15世紀後半にフィレンツェで生まれたダンテとマキアヴェリである。イタリア・ルネサンスは新しい文化運動として次第に他のヨーロッパ諸国の文化にも影響を与え、イギリス、ドイツ、フランス、スペインなどに多くの優れた思想、文芸、美術を生み出したのである。

問A **A** に当てはまる人名はどれか。

1. ランケ 2. サヴィニー 3. スペンサー 4. ブルクハルト

問B 下線部Bに関連して、14～16世紀ヨーロッパで起こった諸事件のうち、年代順に古いものから3番目はどれか。

1. モスクワ大公国がモンゴルの支配から独立した。
2. イギリスでワット＝タイラーの乱が起こった。
3. ドイツ農民戦争が起こった。
4. トリエント公会議が開かれた。

問C 下線部C、カロリング＝ルネサンスの説明で誤っているものはどれか。

1. カール大帝 (シャルルマーニュ) の宮廷を中心として美術作品が作られた。
2. 中世ヨーロッパにおける教育の基礎となる自由七科の確立に貢献した。
3. カール大帝 (シャルルマーニュ) がアーヘン大聖堂の建築を始めた。
4. シトー修道会が創設された。

問D 下線部Dに関連して、12世紀のヨーロッパ文化の説明で誤っているものはどれか。

1. アベラールが唯名論的立場から、スコラ学を説いた。
2. ウィリアム＝オブ＝オッカムが唯名論を唱えた。
3. トレドにおいて古代ギリシア・ローマの哲学・神学・科学の文献が古代ギリシア語・アラビア語からラテン語に翻訳された。
4. 独自の学寮 (カレッジ) 制をとるオクスフォード大学が設立された。

問E **E** に当てはまる人名はどれか。

1. マームーン 2. マンスール 3. トゥグリル＝ベク 4. ムアーウィヤ

問F 下線部F、イブン＝ルシード（アヴェロエス）の説明について正しいものはどれか。

1. モロッコに生まれ、ギリシア自然哲学の紹介で名を馳せた。
2. 医学者としては『医学典範』を著した。
3. アリストテレスの優れた注釈により、スコラ学に大きな影響を与えた。
4. 『四行詩集』を著し、文学者としても知られた。

問G 下線部G、ヨーロッパ人文主義者の説明で正しいものはどれか。

1. ジョルダノ＝ブルーノの宇宙観は、ローマ教会などにも広い支持を得た。
2. ペトルルカは詩作を否定し、主にイタリア語の散文によって高い評価を得た。
3. アルベルティは、異端とされ彼の建築事業はしばしばローマ教会により弾圧、破壊された。
4. ボッカチオは作家として知られ、彼の作品はヨーロッパ文学に大きな影響を与えた。

問H 下線部Hに関連して、15世紀後半ヨーロッパについて正しい説明はどれか。

1. カスティラ王子フェルナンドとアラゴン王女イサベルの結婚によりスペイン（イスパニア）王国が成立した。
2. イギリスではヘンリ7世が即位し、バラ戦争が終結した。
3. 1498年、フランス国王シャルル8世はイタリアから撤兵しイタリア戦争が終結した。
4. 神聖ローマ帝国皇帝カール5世軍により「ローマの劫略」とよばれる略奪が行われた。

問I 下線部Iに関連して、フィレンツェについて正しい説明はどれか。

1. イタリア政治を混乱させたゲルフ（教皇党）とギベリン（皇帝党）の争いに対し、フィレンツェは中立、不介入であった。
2. 富豪コジモ＝デ＝メディチのとき、メディチ家及びその支配下のフィレンツェは黄金時代を迎えた。
3. 「万能の天才」レオナルド＝ダ＝ヴィンチはフィレンツェでも活躍したが、最後はフランスで没した。
4. ミケランジェロはフィレンツェのシスティナ礼拝堂に『最後の審判』を描いた。

問J 下線部Jに関連して、ダンテとマキャヴェリに関して正しい説明はどれか。

1. ダンテは『神曲』をラテン語ではなく、口語であるトスカナ語で著した。
2. ダンテはフィレンツェの庶民の出であり、常に市政に関わることはなかった。
3. マキャヴェリは政治学の名著『君主論』を著したが、終生政治や外交には関わらなかった。
4. マキャヴェリはフィレンツェの職工階級の出身であったが、豊かな教養を身につけイタリアを代表する知識人となった。

問K 下線部Kに関連して、以下のイギリスにおける思想、文芸についての説明で誤っているものはどれか。

1. シェークスピアはしばしば歴史に題材をとり、世界的な劇作家として認められている。
2. チョーサーは14世紀に活躍した詩人であり、代表作『カンタベリ物語』は以後の英詩に非常に大きな影響を与えた。
3. ネーデルラントの思想家エラスムスは『愚神礼賛』を著した。
4. トマス＝モアは『ユートピア』を著し社会批判を行ったが、終生官職には就かなかった。

問L 下線部Lに関連して、フランス、スペインにおける文化、芸術の説明で誤っているものはどれか。

1. スペイン人セルバンテスの長編小説『ドン＝キホーテ』は、近代小説の始まりとも評されている。
2. スペイン人エル＝グレコはルネサンス様式を取り入れ、主に世俗画、風景画に新境地を示した。
3. フランス人モンテーニュは、「クセジュ（我は何を知るか）」を座右銘とし人間性に富んだ『エッセー』を著し、随筆は新しい文学形式となった。
4. フランス人ラブラーの作品『ガルガンチュアとパンタグリユエルの物語』は、偏狭な教会や社会の不正などに対して鋭い風刺の矢を浴びせた。

Ⅳ 次の文章を読み、空欄 1 ～ 13 については、記述解答用紙の所定欄に適切な語句を記入せよ。また、下線部14に関して、1982年にメキシコで起こった経済的に重要な出来事とその背景について、アメリカとの関係を踏まえて記述解答用紙の所定欄に100字以内で説明せよ。なお、句読点・算用数字も1字とする。

17世紀以降北アメリカ大陸では、ヴァージニア植民地にはじまり1732年成立の 1 植民地に至る13のイギリス植民地が建設された。長らくイギリスは緩やかな統制を行っていたが、フレンチ=インディアン戦争などの勝利によりミシシッピ川以東の 2 などを獲得し北アメリカでの支配権を確立すると、植民地への規制や課税を強化した。1765年の印紙法や1773年の 3 の成立は本国による支配への反発を強め、1775年には武力衝突が起こった。植民地側は第2回大陸会議で総司令官となった 4 のもとヨークタウンの戦いなどに勝利し、1783年パリ条約にて独立が承認された。

独立後、初代財務長官 5 は1791年に議会に提出した「製造工業報告書」(Report on Manufactures)において、発展の初期段階にある「幼稚製造工業」(Infant Manufactures)を保護育成することを提案した。その後1812年に始まる 6 によるイギリスとの貿易の途絶は北部の工業発展を促し、産業資本家を中心に保護関税政策を望む声が高まった。一方南部では、18世紀末の発明の成果もあり、19世紀前半に 7 の生産量が急激に増加した。イギリスに 7 を輸出し工業製品を輸入する構造が確立した南部は自由貿易を支持した。北部と南部の経済的な構造の違いは対立を生み南北戦争につながった。

南北戦争に至る頃、ヨーロッパはイギリス主導の自由貿易の時代を迎えていた。イギリスでは、1846年保守党 8 内閣のもとでの穀物法廃止に続き、1849年にはおよそ2世紀にわたり貿易を規制した 9 も廃止された。1860年の英仏通商条約には、最も有利な通商条件を与える第三国と同等の条件で相手国との交易を行う 10 の無条件適用も盛り込まれた。一方アメリカは 10 の条件付適用を原則とし、南北戦争から第二次世界大戦に至る間、1910年代の一時期を除き、概ね高関税を維持した。1890年関税法は後に大統領となり米西戦争を主導した 11 の提案で成立したが、この関税法の下で関税収入が課税品輸入額に占める割合はおよそ50%と高いものであった。また1930年に成立したスムート=ホーリー法は世界的なブロック経済化を誘発し国際的な緊張を高めた。

第二次世界大戦後、アメリカは「関税と貿易に関する一般協定」(GATT)のもとで国際的な通商政策秩序の形成をはかる中心的役割を担った。1964年から1967年まで続いた 12 では工業品に課される関税の一律引き下げを基本とした交渉が行われるなど、広範かつ大幅な関税障壁の削減が進められた。

その後もアメリカは世界の通商に大きな影響を与えている。1980年代のレーガン政権下では1988年包括通商競争力法が成立し、他国の不公正貿易慣行に対する対抗措置が強化された。¹⁴トランプ政権下では米中貿易摩擦が激化する中、連邦政府や民間企業が行う取引に対する制限が強化された。例えば、2019年5月には安全保障上の懸念がある企業からの調達を禁止する大統領令の署名がなされた。また商務省は、安全保障や外交上の利益に反する企業などを列挙したエンティティリスト (Entity List) に中国の代表的な通信機器企業 13 とその関連企業を追加した。同年5月16日発効となったこの措置は、同企業に対する事実上の禁輸措置の一環であった。こうしたアメリカの動向は日本を含めた近隣諸国にも大きな影響を及ぼし、通商問題は現在でも国際的緊張を高める側面を持っている。

[以下 余 白]

